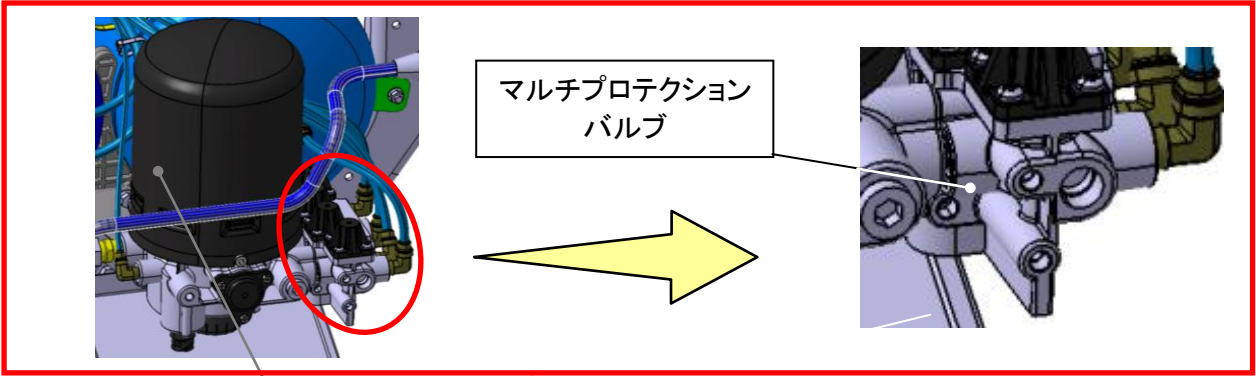


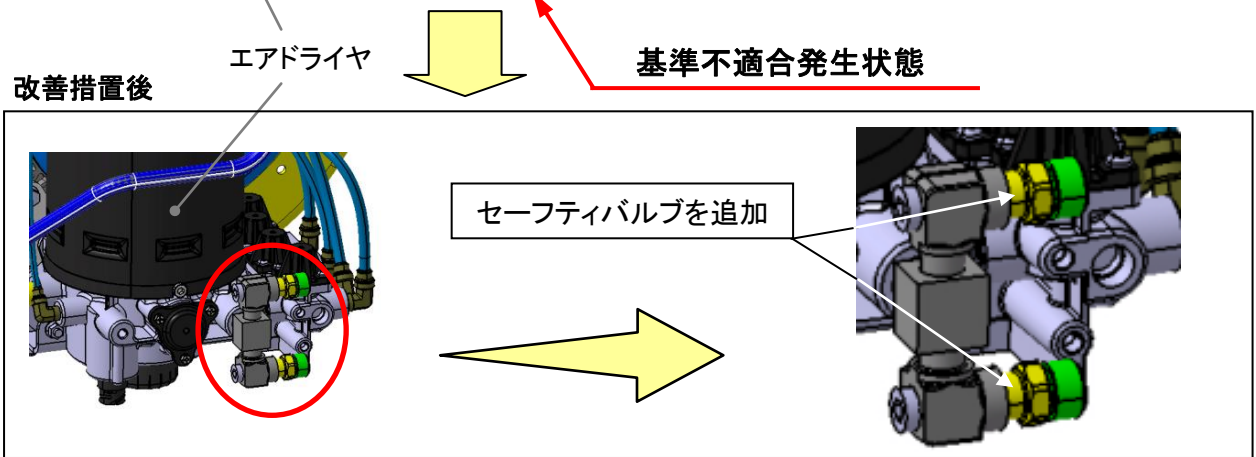
# 改善箇所説明図



改善措置前



改善措置後



大型トラック・バスエアブレーキにおいて、セーフティバルブ(エアラインの保護を目的にエアラインが高圧になった場合に弁が開き圧力をさげるもの)のエア排出量が不足しているため、エアラインが高圧になることでASRバルブ(滑りやすい路面等でタイヤの空転を抑えるために一時的に制動をかける電磁弁)が誤作動し、ブレーキの引き摺りを起こすものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けるとブレーキが過熱し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

**改善措置の内容**  
 全車両、エアドライヤの出口にセーフティバルブを2個追加し、エア排出量を増加させる。また、ブレーキ周りを点検し、引き摺りの発生が確認された場合には、異常が認められた部品を良品に交換する。

注：□ は、交換 または 追加する部品を示す。

識別：作業完了車には、所定の位置に「HD172」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。  
 バス：車両左後方点検リッド裏